

一

問一 ア 問二 ウ 問三 エ 問四 学用品

問五 (二) 物のない時代に疎開先で先生の呼びかけに従って、生徒たちが持ち物を全て出して共用しているなか、自分だけ色鉛筆をかくしてださなかった点。

(二) 物が自由には買えない第二次世界大戦中、女友達にとって学用品そのものが宝ものように貴重な存在であり、特に色鉛筆はぜいたく品の極みだったが、疎開先にお別れのあいさつに行ったオルガンの先生からもらった色鉛筆ははじめて手にしたものな上に非常にきれいであり、一人占めしたかったから。

問六 エ 問七 (一) イ (二) 約束をの記憶

問八 一九四五年

問九 美しく貴重なものであるが、失われやすい平和の象徴

問十 イ

二

問一 (一) イ (二) もらいにきた

問二 (一) ア

(二) 水を濁さずに汲むことができる

下流に住む人々の飲み水を汚さない

伝染病の蔓延をふせぐこと

問三 Aオ Bウ Cエ 問四 イ

問五 カムイに声をかけてどいてもらった

問六 あエ いア 問七 人工 問八 ウ 問九 ウ 問十 ア

問十一 物を大切にせず捨てて

問十二 この世を動かしているすべてのものが人間と同じ精神の働きをもっており、人間と同じルールで人間とともにひとつの共同社会を形成しているという観念

問十三 1× 2× 3× 4○ 問十四 1(水を)さす 2(水に)流す

問十五 a 臨時 b 根底 c 飼料

三

1 浴びる 2 省く 3 構える 4 頂